

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ホラサーン行政郡ガラオボード地区メフナトボード村第8学校改修計画供与式報告

平成30年2月20日、「ホラサーン行政郡ガラオボード地区メフナトボード村第8学校改修計画」の供与式がホラサーン行政郡で行われました。供与式にはホラサーン行政郡長、教育局長をはじめ、多くの学校関係者、児童・生徒及び保護者を含む大勢の地域住民が参席しました。

本計画対象のメフナトボード村第8学校には近隣の7村から1～11年生約630名が通っています。同学校は1988年に建設が始まりましたが、ソ連崩壊によって工事が中断され、屋根がないまま使用しなければなりませんでした。そのため雨天時には雨漏りが発生し、天井や壁が腐敗し、図書室の本も濡れてしまうなどの被害が多々ありました。時には授業が実施不可能になり、休校にせざるを得なくなることさえありました。

今般、本計画実施により児童・生徒たちは快適な環境で学習することができるようになりました。供与式では同学校に通う児童より日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



パンと塩によるタジキスタンの伝統的な歓迎を受ける中垣参事官。



屋根の設置により雨漏りの無くなった教室で学ぶタジキスタンの児童。



今般、草の根の支援により設置された屋根。



日本の支援に対して、感謝を述べるホラサーン行政郡長。